

個別受注生産型機械・加工工場の生産管理システム

1. 適応対象工場

個別受注生産型企业に最適です。

具体的には下記のような企業様を想定しています。

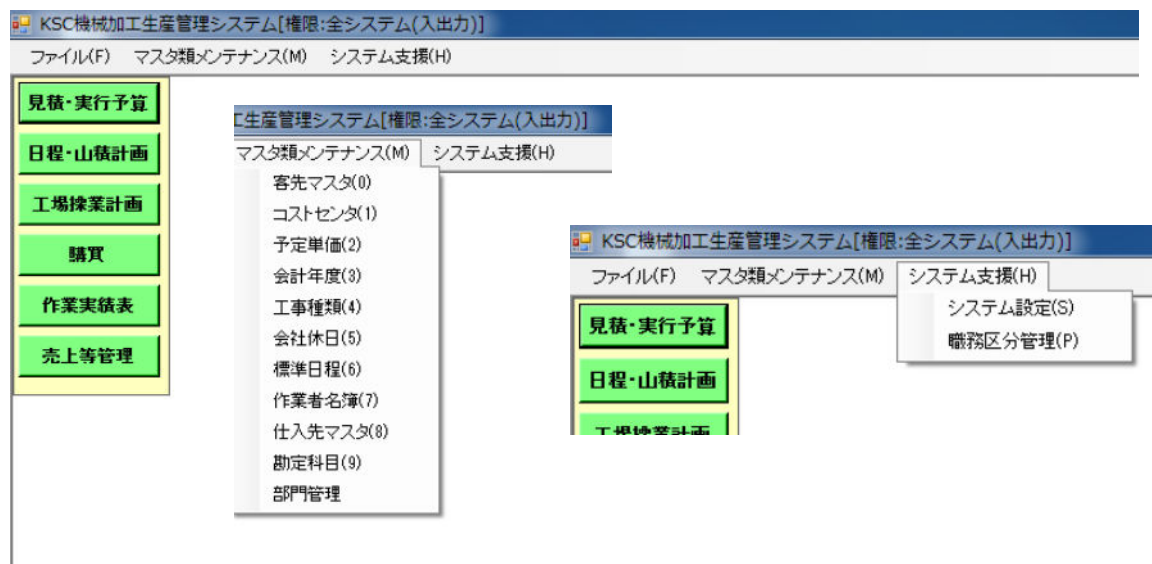
- ・従業者が 20 ～30 人以上
- ・多品種少量生産
- ・購買、加工外注をした部品を組立、テストして納品
- ・素材を購入、溶接、機械加工をして、部品として納品
- ・素材の曲げ、溶接等の加工、半製品の機械加工、購入品を加えて組立、検査の上、納品

2. システムの業務範囲

受注見積から納品・入金までの一連の管理、即ち、見積作業で作られた資料を利用して、提出見積書の作成、実行予算の作成、日程表・山積表の作成、購買要求・注文書(貯蔵品の扱い、検収、在庫の処理等は業務規模に応じて構築)の作成、購買納期管理、工程(作業)票の発行、日報の発行・回収(工数実績の収集)、原価管理、売上高管理、受注残高管理、予算実績の比較、納品書の作成、売掛金・買掛金のデータ作成、コストセンター別予定単価の策定を行います。

この業務に関連する設計部、経理部の業務には、業務規模によって変わりますが、原則的には、直接関与はしません。つまり、図面は設計部、或は客先支給されるものとします。検収、入金、部門費情報は経理部より通知されることを前提とします。

図：トップメニュー



3. システムの特徴

このシステムは生産管理を円滑に行うための事務用具であることは勿論ですが、同時に、経営目標達成を促進・援助することに重点を置いて開発をしています。

現在のこのシステムの経営目標は、「貸借対照表の改善・・・現金の増加」としています。

見積資料をパソコン内部で展開して、資材手配、日程管理等に使うことで、見積価格内での資材の調達、社内加工の日程、予算の厳密な管理、部門費管理、営業状況、入金管理等、総合的に、業務の整合性をとりながら、目標の達成支援に役立てようとしています。

なお、出力帳票はエクセルを原則とし、社内再利用が可能としています。

4. システム構築

マザー・システム(弊社開発の総合生産管理システム)を基盤として、お客様の工場の実情に最適と考えられシステムを構築します。

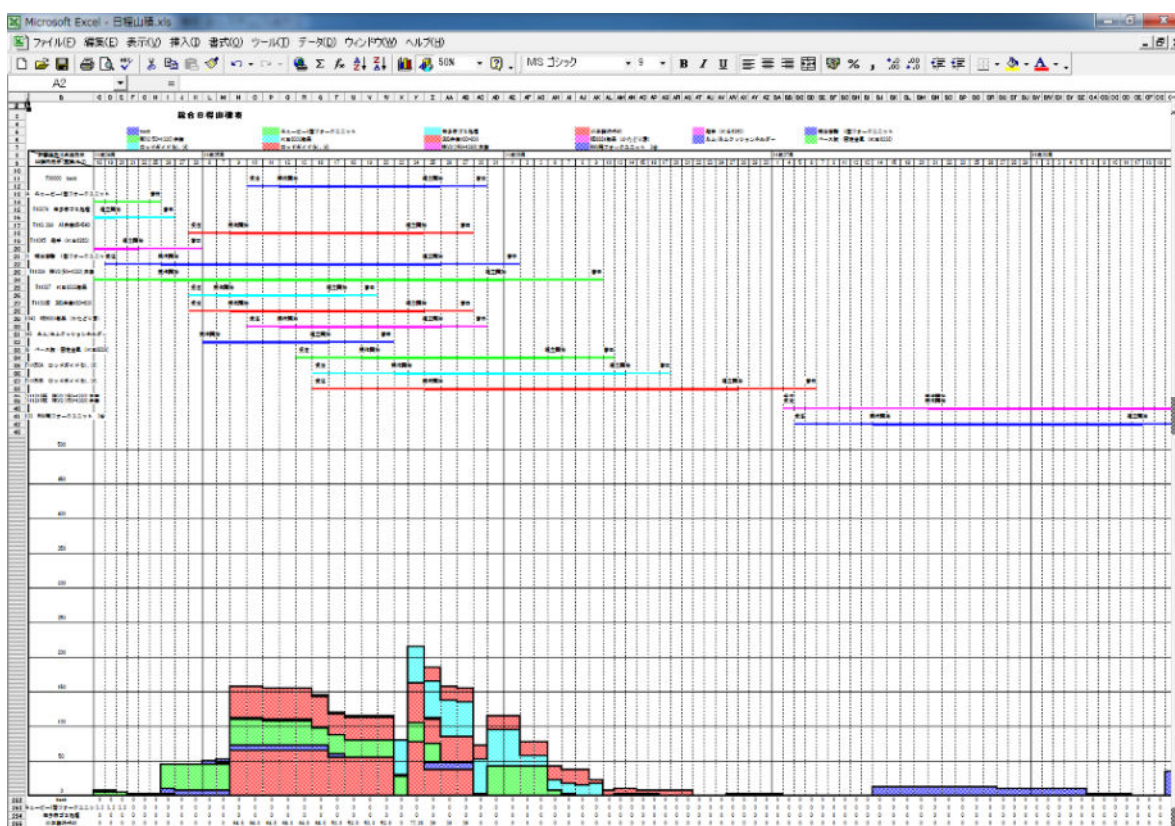
構内ランでパソコンがつながっている場合は、複数の人員での同時見積作業、工数などの実績は現場で入力することが可能です。

(注 構内ラン、パソコンなどの設備はお客様でご用意します)

構築の標準的作業期間は約4ヶ月です。納入後3ヶ月は問題追跡期間とします。

作業期間の内、最初の1ヶ月は、仕様の協議、設定期間です。協議の結果、作業期間等の変更をお願いすることがあります。

図：工場操業計画サンプル



5. システム開発に際してのお願い

仕様の協議、システムを運営上の問題点把握のため、専任責任者を1名任命下さるようお願いいたします。

6. 英文・スペイン語・ポルトガル語システムの作成

海外進出等のために必要な場合は英文等でシステムの作成もいたします。

以上